大 豆 島

ごみ問題を考える会

ニュース NO，7
2002年12月14日

「考える会」の会員募集中！
環境を守る輪を広げましょう！
TEL・FAX026-222-2396
事務局　舟越

署名のご協力を
引き続き
お願いします！

プラスチック圧縮梱包施設に関する

長野市の説明に多くの矛盾点 が…

真剣に考えている私達に
いい加減な説明はもう止めてください！

その1

納得できますか？
長野市の説明
500箇所も？！

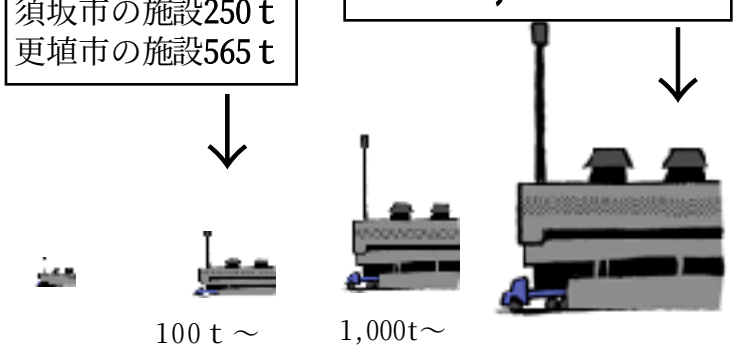
長野市は、「意見書に対する市長見解」や地元説明会などで、度々**「全国に同様の施設が500箇所あって健康被害など問題ない」**という説明をしてこられました。

私達がその内容や所在地を再三、聞いても**「調査しておきます。」**というだけでした。

そこで、独自に**「容リ協会」の資料を取り寄せた**結果、全国に**３００数箇所**しかなくそのほとんどは、小規模なものでした。しかも**5,000トン以上のものは,１５箇所**で、そのほとんどは**焼却場とは、別の場所に建設されていました。**

説明会のビデオで見た
須坂市の施設250ｔ
更埴市の施設565ｔ

大豆島に建設予定の施設は
5,200ｔ



100ｔ以下	100ｔ～1,000ｔ	1,000t～3,000t	3,000ｔ以上
97箇所	147箇所	40箇所	23箇所

１２月長野市議会でも大豆島プラスチック圧縮梱包施設について質問がありました。

質問「住民に対して『全国に５００箇所あり問題ない』と説明していた根拠は何か」

答弁「再商品化委託市町村数６６４で、全国の保管施設４３４箇所から推定した」と町田環境部長。

※　１ヶ月も前から、所在地とその施設についての調査を求めているのに、いまだに、こんないいかげんな数字をこじつけた答弁しかしない**長野市の無責任さをあらためて感じました。**

議員席からは「５００！」「５００だ！」とのヤジも聞こえ、**行政は住民の気持ちを受け止めた誠実な対応をして欲しいと思いました。**

その2

搬入車両が増えないことが前提になっているアセスは
無効では？！

長野市が建設に先だち**「生活環境調査」**が実施され、施設建設によっても生活環境への影響は、ないとされました。

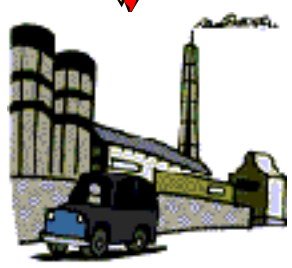
それは平成13年度時点の、焼却場への搬入・搬出の車両台数が、将来にわたって変化しないことが前提になっています。

―ところが！！―

アセスの後、ゴミはどん！**どん！**
増えている！！

- 平成14年4月～ 中条村・戸隠村 のゴミ
- 平成14年10月～ 鬼無里村 のゴミ
- 平成14年12月～ 信州新町・大岡村・八坂村 のゴミ
- 平成15年4月～ 小川村 のゴミ

これでも
「車両台数が変わらない」
と言えるでしょうか？



このアセスは
有効でしょうか？

この２点について長野市の説明に重大な誤りがあるとして、建設を大豆島に限定せず、慎重な対応をしていただくように求めた**要望書**を
大豆島７地区の区長会の方々、**大豆島３地区の審議員さん**、に郵送しました。
（全文をご希望の方は、事務局にご連絡ください）

地元議員さんにも上記の要望書を届けました。
「まだ、大豆島に建設するとは決まっていない」
建設予定地が11月29日に整地の落札が行われたことについて
「あれは森にする予定で整地した」
「考える会にもできる限り協力します」との話でした。

裏面も
お読みくださ